

妊娠・出産期の症状再燃と母子治療を続けた成人小児アトピーの経過 (32 歳女性・2 歳男児)

症例 ID：001-30-IY4 | 記録日：2009 年 10 月 24 日

1. 診断・治療前経過

母親は幼少期から膝・肘内側の症状に外用薬を使用し、社会人後に顔から全身へ広がりました。松本医院で治療を始めた3日後から顔・上肢・下肢に強いかゆみと浸出液が出ました。

その後、結婚・妊娠を機に手や腕、腹部の症状が再燃しました。息子は乳児期から乾燥があり、1歳頃から内服治療を始めました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	母親は幼少期から松本医院受診前までステロイド外用薬を使用しました。息子は使用していません。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	母親は幼少期から成人初期まで長期に使用しました。
中止時期	母親は松本医院受診時に中止しました。
来院前／後	母親は来院前に使用歴があります。息子は使用せず治療しています。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
母親・幼少期～社会人	来院前	膝・肘内側から顔・全身へ症状が広がりました。
母親・治療開始3日後	リバウンド期	顔、上肢、下肢が強いかゆみ、浸出液が出て眠れない状態になりました。
母親・約3年間	長期経過	家族の支援を受けながら入浴、消毒、外用処置を続け、少しずつ落ち着きました。
妊娠・出産期	再燃	手、腕、腹部に赤黒い腫れとかゆみが広がりました。
出産1年後	回復傾向	腕や顔の症状が軽くなり、手の腫れが引いて指輪が入るようになりました。
息子・乳児期～2歳	小児経過	漢方入浴と1歳頃からの内服を続け、2歳時点では見た目はほとんどきれいになりました。

4. ピーク時期

母親のピークは、治療開始3日後から全身がかゆく浸出し、眠れず、皮膚の落屑が室内に多くみられた時期です。

5. 困りごと

- 母親は入浴、消毒、外用処置を毎日続け、夜間の睡眠も妨げられました。
- 妊娠・出産期の症状再燃と育児が重なりました。

6. 経過のまとめ

母親は出産 1 年後頃から腕と顔が落ち着き、手の腫れが引いて指輪が入るようになりました。

息子は 2 歳時点で時々かゆがることはあるものの、見た目はほとんどきれいな状態になりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。